

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	農林整備課
課名	農林整備課

予算	款	項	目	決算書
	6	4	4	164 頁

目 名
林道維持管理費

事務事業名称
林道維持管理事業

1. 概要

目的	林道の適正な維持管理により、常に林業作業車及び一般通行車両等通行者が安全に通行できる状態を確保する。	対象	受益者及び一般利用者
事業概要	<p>○林道維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理林道除草作業委託事業(緊急雇用対応創出事業含む) 10,869,180円 市が管理する林道の除草作業、側溝清掃作業等を自治会及び団体に委託して実施、また本年度は緊急雇用対応創出事業を活用して、維持管理が不十分な路線を豊肥地区シルバー人材センターへ委託し実施した</li> <li>・林道管理事業 林道台帳作成委託料 (事業等で整備した管理林道の台帳を作成) 386,400円 林道維持作業委託料 (道路敷き内の崩土除去作業を実施) 263,550円 原材料費 378,000円</li> <li>・林道補修事業 5,933,550円 地元からの要望、定期的な点検/パトロールにより把握した補修箇所の対策工事を実施した</li> <li>・林道補修事業(繰越) 49,848,750円 臨時交付金を活用して、課題であった急坂部洗堀箇所の舗装工事を実施した</li> </ul>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	林道維持管理事業	林道補修事業	工事請負費	69,360	67,849	48,691			19,158	3
計				69,360	67,849	48,691	0	0	19,158	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	林道の維持管理		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画/後期基本計画において、基本施策(4-1-2)目標達成のために重要な施策となっている。			
活動指標	指標	a	維持補修額	b		c		d	
	数値	目標	—	目標		目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
林道の維持管理		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 維持補修額	千円	47,427 千円	56,585 千円	55,782 千円
b		—	—	—
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
未舗装箇所が、異常気象の降雨により洗掘され通行に支障きたしている箇所があり、維持管理面からも早期の舗装が必要である。
対応（改善点等）
国・県の補助事業による林道整備（舗装）事業の検討

## 5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

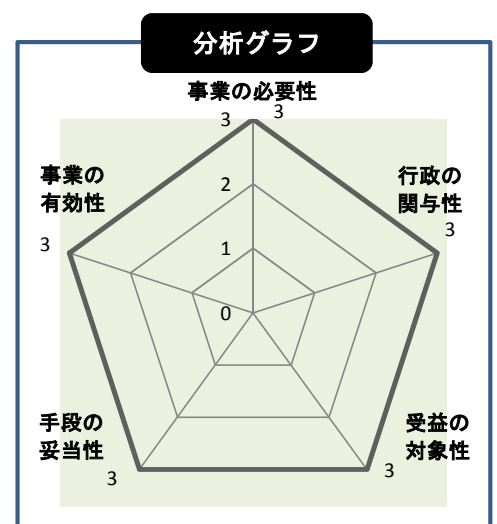
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		60,363	65,701	67,849	18,161
うち経常経費		9,669	9,637	2,988	12,761
財源内訳	国費		48,400	40,000	
	県費		4,346	8,691	5,400
	市債				
	その他				
	一般財源	60,363	12,955	19,158	12,761
うち経常		9,669	9,637	2,988	12,761
事業費に係る人件費		1,707	2,190	2,580	1,718

## 6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
国の臨時交付金等を活用し、平成21年度から平成23年度にかけ未舗装箇所の舗装工事を実施した。今後も限られた予算額の範囲で計画的に未舗装箇所の舗装工事を実施する。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 通行者の安全な通行を確保を目的に実施する維持管理事業の必要性は高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 林道管理者は市である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 対象者は林道の利用者であるため、公共性は高い
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 異常気象発生後の点検はもとより、定期的な点検パトロールによる補修箇所の把握補修は重要である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 対策工事の実施により、目標である利用者の安全な通行が確保されていると判断する



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	限られた予算の中で事業効果を上げること